



2026年9月25日（金）第7号

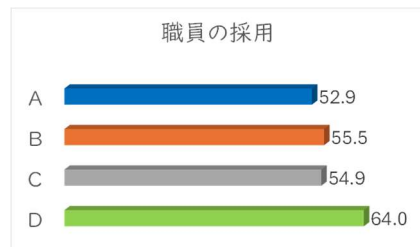
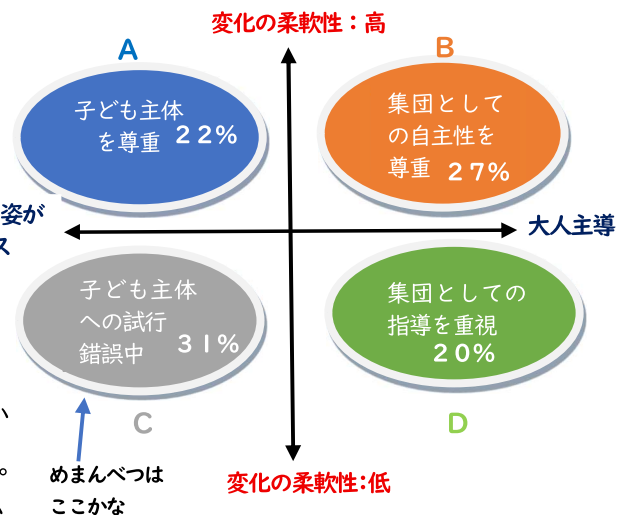
保育の質と人材育成

園長 中谷 浩一

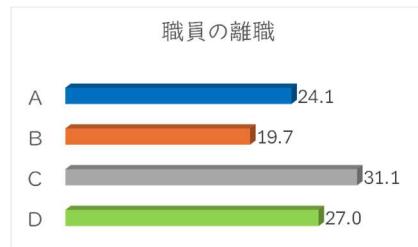
先日、幼児教育推進センターの教育相談員である名寄市立大学の准教授 傳馬 淳一郎氏を招いてお話をしてもらいました。継続的な園運営の実現にも参考になります。

右の図は縦軸が変化に柔軟かそうでないか、横軸は園の保育内容が集団か個人を重視するかで4つのグループに分類しています。それぞれのグループを要約するとAは、子どもの話を聞いて個々の園児の活動に柔軟なグループ。Bは、子どもの声を聴きながらも事前に決めた活動への取組を重視するグループ。Cは、個々の園児のやりたいことを意識して柔軟性を試しながらも一斉活動も多いグループ。Dは、子どもへの指導を重視、予め決められた一斉活動が多いグループになります。

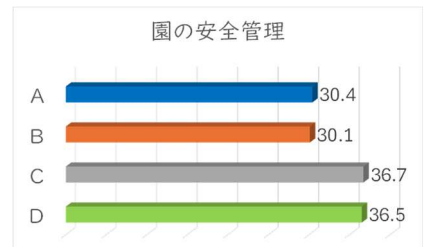
これをみると個々の興味や関心を意識した子ども主体の保育に取り組んでいる園は22%しかなく、一斉指導は約半分の47%を占めていることがわかります。下のグラフは、職員の採用や離職、園の安全管理について表したものです。



集団としての指導を重視する園ほど職員の採用に課題を抱えていることがわかります。



子どもベースを試行錯誤中と集団指導を重視する園は職員の離職にも課題を抱えていることがわかります。



職員の離職に課題を抱えている園ほど、安全管理にも課題を抱えていることがわかります。

このように「変化の柔軟性」と「保育の主体」を掛け合わせて関係性を見ると今まで気づかなかったことを知ることができます。このような傾向の理由を玉川大学の大豆田 啓友氏は「保育の養成校でも、学生たちは“子ども主体”の保育について学び、“子ども主体”の保育を実現できる園に就職したいと考えているようになってきている」と述べています。

ある日、教室からモノが消えたら～環境を通して行う教育が必要な理由～

園児たちの遊びは1つの文化といえます。遊びが生まれ、変化し、消えていくといった一連の循環が繰り返されます。

園児の発達段階においても、その遊びの内容や方法は違ってきます。このことから保育教諭が園児にどのような環境を与えるべきか、その時機を考えることも大切になってきます。

こどもの主体性を呼び起こすのはアフォーダンス＝モノが人に与える意味(可能性)と説いているのは、細田直哉氏です。大人は「こどもの姿」の理由をこどもの内部に求めようとします。しかし、こどもの姿の出発点は環境との出会いにあると述べています。彼は、ある日、保育室にモノがなくなったら、こどもたちはどんな姿を見せるか?という実験を行いました。こどもたちはまったく普段とはことなる姿をみせたそうです。大声を出して走り回り、友達を追いかけたり、たたき合うこどもまでいたそうです。「環境を通して行う教育」が大切な理由はここにあるように思います。



10月の主な行事予定



日	曜	行事予定	お知らせ・お願い
1	木	開園記念日	1号認定のお子さんはお休みになります。
2	金	2学期始業式	
5	月	園内委員会 空港見学（年長）	専門機関の方々と交えてケース会議を行います。 全日本空輸（ANA）さんにお世話になります。
6	火	就学時健診（年長） 運営委員会	9月1日付の教育委員会から配布されている案内文書を確認ください。
7	水	ALT 交流（年長） 校長会議	
8	木	異年齢交流	
9	金	町教研（英語部会） 園長研修会（滝上）	片平が不在になります。
12	月	スポーツの日	お休みです。
13	火	個人懇談（年少）	16日まで行います。
14	水	給食会議 芸術鑑賞	給食について担当者でお話をします。
15	木	料理教室（カレーづくり）	年長、年中クラスで行います。
19	月	個人懇談（年中） 職員会議	23日まで行います。
20	火	内科健診	
21	水	歯科検診 お弁当の日 	月に1回の園児たちが楽しみにしているお弁当の日です。お願いします。
22	木	子育て支援園開放	
26	月	個人懇談（年長）	30日まで行います。
27	火	東藻琴お出かけ（年中）	
28	水	研修日	先生方のお勉強の日です。
29	木	お誕生会	10月生まれのお子さんのお誕生会です。未満児はお部屋で、以上児は遊戯室で行います。以上児の保護者の方は一緒にお祝いしましょう。

ONちゃん体操、みんなで笑顔いっぱい元気に踊りました。

健康福祉祭り、年長さんが可愛らしいお遊戯を披露しました。



ほくと君と記念撮影



大空町のこども園に住吉の大隅広大さんから玉ねぎ150キロをいただきました。大隅さんからの寄付ということで感謝しています。給食の食材としておいしく食べようと思います。ありがとうございました。<(_ _)>

みんなで<(_ _)>です。